

令和8年度 課方針書

課(局)名	税務課	課(局・事務)長名	外山英晴	作成年月日	令和8年4月1日
■課等の所管する行政課題等を取り巻く現状(国・県の動向や町民意識等)					
<p>国内の情勢をみると、経済成長を促しつつ、社会保障を支え、デジタル・環境・働き方等の時代の変化に対応した公平な税制を見直すこととなっています。</p> <p>中間層に対する減税と高所得層に対する負担強化のバランスを考えた税制を行う等の措置が講じられています。</p> <p>これらの状況を踏まえ、これまで同様、法令に基づく、適正かつ公平な課税及び確実な収納を目指します。</p>					
■解決すべき行政課題(現状の問題等点)					
<ol style="list-style-type: none">1 適正な課税 町民の税務行政への信頼性を確保するため、課税客体の正確な把握と的確な課税資料の収集を行い、適正課税に努めます。2 確実な収納(収納率の向上) 税及び料金の収納率向上を図り、行政サービスの原資の確保に努めます。3 職員の資質の向上 職員の専門研修などを通して、複雑化する税制等を習得し、納税者への正しい税知識の普及に努めます。					
■課題解決のための課等の方針(単年度方針と中長期方針)					
【単年度方針】					
<ol style="list-style-type: none">1 課税客体の適正な把握と適正な課税を行います。 個人住民税、軽自動車税及び償却資産等の調査を実施し、未申告者への対応の強化や、実態に合わせた適正課税に努めます。2 収納率の向上に努めます。 早期の催告、調査等により、現年度分の収納率の向上を目指します。 十分な滞納調査等を行い、的確な滞納整理を遂行します。3 事務処理能力の向上に努めます。 マニュアルの作成などの事務改善及びRPA等のシステムの活用を通して、適正かつ効率的な事務執行に努めます。4 時間外勤務時間の削減 我々は、正規の勤務時間内に業務を行うことが基本です。ワークライフバランスの充実を図るため、「時間外勤務ありき」ではなく、必要最低限の時間外勤務に努めます。					
【中長期方針】					
<ol style="list-style-type: none">1 毎年培ったノウハウを蓄積し、税務事務の維持、向上に努めます。2 研修への参加等により各自の能力向上と組織力の向上に努めます。3 各種情報を収集、整理をし、事務の適正化と効率化に努めます。					

■今年度の課における施策（重要度順）

（税務課）

重要度 順位	施策名	施策の内容	担当係名	連携課名
1	信頼される税務行政の確立	①適正・公平・効率的な課税	住民税係 資産税係	関係課
		②職員能力の向上	全係	総務課 企画課
		③税情報の的確な発信	全係	総務課 企画課
2	滞納対策の強化	①現年度分の収納率の向上	収納管理係	関係課
		②十分な滞納調査と的確な滞納整理	収納管理係	関係課
3	効率的な税務行政の推進	新たな仕組みの研究及び導入並びに関係 機関との協力、連携の強化	全係	関係課

■今年度の課における事務事業（重要度順）

（単位：千円）

重要度 順位	事務事業名	事務事業の内容	担当係名	事業費
1	適正課税事務	課題の発見、チェックリストの作成等	住民税係 資産税係	
2	効率的な収納管理	多様な納税方法の周知等による納税環境の 向上	収納管理係	
3	的確な滞納整理	十分な滞納調査、差押等による的確な滞納 整理	収納管理係	
4	事務の最適化事務	マニュアル作成などによる、事務の最適化	全係	
5	情報管理事務	広報誌、ホームページ等による適切な情報 発信及び内部情報連携強化	全係	
6	事務の効率化	R P A等を活用した事務の改善及び効率 化	全係	
7	事務処理能力向上への取組み	専門研修等への参加、業務マニュアル作 成・活用	全係	
8	職員育成事務	人事評価システム等による育成事務	全係	
9	公文書整理事務	文書、データの適正管理、データベース化 による業務の効率化	全係	